

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談

2. 日時：令和3年4月27日（火）15：00～16：00

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁	原子力規制部原子力規制企画課	森下課長、椎名係員
	専門検査部門	滝吉企画調査官
	技術基盤グループ技術基盤課	佐々木企画調整官
	システム安全研究部門	小嶋上席安全技術調査官
原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。）		部長、他4名（テレビ会議システムによる出席）
関西電力株式会社	原子力事業本部原子力発電部門	原子力保全担当部長、他3名（テレビ会議システムによる出席）
三菱重工業株式会社	軽水炉保全プロジェクト部	主席プロジェクト総括、他3名（テレビ会議システムによる出席）
電力中央研究所	軽水炉保全特別研究チーム	研究参事（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨：

ATENA から、「大飯3号加圧器スプレイライン粒界割れ事象を受けた検討の方向性について」（資料）に基づいて説明があった。原子力規制庁から、産業界の自主的取組が第三者からも見えるよう透明性を確保するやり方を工夫してほしい旨発言した。

原子力規制庁から、ATENA に対し、次回の原子炉安全専門審査会・核燃料安全専門審査会において、新しい検査の運用状況に係る事業者からのプレゼンテーションを依頼するとともに、プレゼン資料作成の観点について資料に基づいて説明した。これに対し、ATENA から事業者へ伝える旨回答があった。

6. 配付資料：

- ・大飯3号機加圧器スプレイライン粒界割れ事象を受けた検討方向性について（ATENA）
- ・[ドラフト] PWR 環境下のステンレス鋼粒界割れ（大飯3号スプレイ事象）技術課題整理の素案（ATENA）
- ・次回の炉安審・燃安審での説明のお願い（原子力規制庁）

以上